



— 劇場が、街と世界をつなぐ —

劇団「青年団」の新たな本拠地。地域の文化拠点となることを目指し、豊岡から世界へ発信する、街の小さな劇場です。

一緒に演劇しませんか？

【たじま児童劇団 第2期メンバー募集開始！】

江原河畔劇場を拠点に活動する『たじま児童劇団』の第2期メンバー募集が始まりました！活動は、平田オリザと劇団青年団のプロの俳優が講師をつとめ、年間をとおして演劇のワークショップや、本格的な舞台作品の創作や発表を行います。

昨年度は、中高生の部メンバーが、平田オリザ書下ろしの新作『十五少年・少女漂流記』を上演し、各メディアでも話題を呼びました。

今年度はどんな出会いがあるのか、今からとても楽しみです。ご応募お待ちしております！

まずは、《お試しワークショップ+保護者説明会》にご参加ください。

❖ お申込みは、劇場へ[お電話]もしくは
右記QRコードの[お申込みフォーム]へ



☆小学校4～6年生 対象

【小学生の部】は、身体や頭を使って楽しくゲームをしながら演劇を作っていきます。演劇をやったことがない子も一緒に楽しく参加できます。演じることや演劇を見る楽しさ、仲間と協同して創作する楽しさを体験してもらえそうです。

☆中学生・高校生 対象

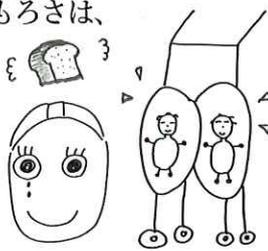
【中高生の部】は、但馬の中高生を中心に本格的な演劇活動を目指すものです。とはいえ、演劇経験などは必要ありません。授業など何かのきっかけで「演劇って面白いな」と思った人たちに、もう少し演劇の深さや楽しさを知ってもらいたいと思って開設しました。気軽に参加してください。

【劇団員の横顔】vol.8

劇団拠点が豊岡に移って早2年余り。移住してきた劇団員も少しずつ増えました。こちらの通信では、知られざる(?)劇団員の横顔を紹介していきます！

第8回目は、俳優の【森岡望】さん。去年双子ちゃんを出産したばかりの三児ママ。お子さんからは「かか」と呼ばれています。料理の腕前&涙もろさは、おそらく劇団 No.1 の女優さんです。

- ☆趣味「お菓子作り、パン作り」
- ☆ハマっているもの「ダーニング」
- ☆ひとこと「『ソウル市民』に出演します。是非観に来てください◎」



6月1日(水) 予約受付開始！

6月1日(水)より、7月の青年団公演『ソウル市民』と『銀河鉄道の夜』の予約受付が開始いたします。

❖ 7月7日(木)～7月10日(日)

『ソウル市民』 作・演出：平田オリザ

1909年、「日韓併合」を翌年に控えたソウルを舞台に、植民地支配者の本質を明晰確固と描き、現代口語演劇の出発点となった平田オリザ代表作。

内容はもちろんですが、衣装や髪型なども、見応えたっぷりの演目です！



❖ 7月17日(日)～8月7日(日)

『銀河鉄道の夜』 原作：宮沢賢治 作・演出：平田オリザ



“本当の幸せ”を求めて、二人の少年が様々な星座を旅するものがたり。大人から子供まで楽しめる青年団のレパートリー作品。夏休み期間中の毎週末上演します！

この夏はぜひ何度でも、銀河鉄道へご乗車ください。

劇場に通ってみませんか？

江原河畔劇場では、劇場支援会員を募集しております。まだまだ続く2022年度の公演を優先的に何度でもご観劇いただけます。ぜひこの機会にご入会もご検討ください！

各公演の詳細や、劇場支援会員制度につきましては [江原河畔劇場WEBサイト](#)をご確認ください。



劇場マメ知識

— 右と左じゃなくて、上(かみ)と下(しも) —

舞台用語で本当によく使われる「上手(かみて)」と「下手(しもて)」。客席側から見た場合の、舞台の「右側」と「左側」をさす用語なのですが、舞台側に立っていると「あれ？どっちがどっちだっけ？」なんて一瞬迷ってしまったりします(笑)ももとは、南側を向いて作られた舞台の東側(日が昇ってくる)が、位の高い人の位置つまり上座=上手(かみて)、ということから由来しているそうです。なので、英語にはない日本独自の用語なんですね。



えばらかはんげきじょう

江原河畔劇場

〒669-5311 豊岡市日高町日置65-10 (JR江原駅から徒歩2分)

電話：0796-42-1155 (受付時間10:00-16:00)

FAX：0796-42-1156 [公演期間中以外は日曜休館]

江原河畔劇場では、新型コロナウイルス感染症対策を講じてイベントを実施しております。ご理解とご協力をお願いいたします。